



## 「法人税減税せよ」 = 「税金を減らし配当を増やせ」

法人税減税???

「国際競争力強化の為に法人税減税」と、自民も民主も云うがどうか？

商品の原価は材料費、人件費、工場の設備費、固定資産税等のコストで決まる。それに予定の儲けを乗せ売値を決める。期末に総売上げから実際のコストを引くと儲けが出る。それに応じて法人税を払う。赤字なら払わない。このように、法人税は原価に入らず、売値には関係がないので、国際競争力には関係しない。

所得税を見ると

所得税が減税されると生活が楽になる。法人税も同じと考える人もいるが、どうだろう。個人の生活を法人に当てはめて見よう。まず、

賃金が売り上げ。生活費、即ち、衣食住費、

教育費、固定資産税などがコスト。売り上げからコストを払った余りが法人で云う儲けで個人なら貯金になる。つまり、法人税は「貯金できるなら払う」もの。貯金できなくても取られる所得税とは全く違う。

法人税を減税すると

儲けが法人税と配当になる。だから「法人税減税」との主張は「払う税金を減らし、株主への配当を増やせ」と云っている事。

消費税導入後、法人税減税で、国民の納めた消費税とほぼ同額の法人税収が減った。今、

又、更に法人税を減らせとは、凶々しすぎるのでは？

皆さんはどう思われますか？

## 木曾駒ヶ岳

(宝剣岳山頂近くから、中岳を望むと、その先に木曾駒ヶ岳が見えた)



馬を田畑の耕作に使っていた昔は、春が来て雪が消えるのが待ち遠しい。山を見上げ、その残雪の形を馬に見立て「駒ヶ岳」と云う山が全国に十九ある。その中で木曾駒ヶ岳は標高二九五六m。甲斐駒ヶ岳の次に高い。

ロープウェイで二六一二mの千畳敷カールまで一気に登れる。子供連れやお年寄りでも高山植物が楽しめる。そこから登山装備で急坂を登ると、絵に見える山小屋に到着。

リュックを置いて二九三一mの宝剣岳に登り、北を眺めると、目の前に中岳。その後に駒ヶ岳が見えた。

山を歩くと、花崗岩質の岩がびび割れて転がっている。その間に深山キンポウゲ、シナノキンバイ、エーデルワイスの仲間の深山ウスユキソウが見られた。